

各関係機関長 殿

岡山県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報の発表

病害虫発生予察特殊報第1号を下記のとおり発表したので送付します。

令和5年度病害虫発生予察特殊報第1号

令和6年1月4日

岡 山 県

1. 病 害 虫 名 フタテンミドリヒメヨコバイ *Amrasca biguttula* (Ishida, 1913)
2. 発生作物名 ナス
3. 特殊報の内容 岡山県での初発生を確認
4. 初発生確認月日 令和5年12月11日
5. 発生確認場所 岡山県南部
6. 発生面積 54a
7. 発生確認の経過

令和5年11月、県南部の施設ナスほ場において、葉が黄化、萎縮、奇形を呈する症状が確認され、被害葉上にて翅末端に一对の黒点があるヨコバイが確認された（図1～3）。ほ場から虫体を採集し、農林水産省神戸植物防疫所に同定依頼したところ、本県ではこれまで未確認のフタテンミドリヒメヨコバイであることが判明した。

8. 国内での発生状況

国内ではこれまでに、沖縄県のオクラで発生が確認されているほか、平成17年（2005年）に東京都小笠原諸島のナス、オクラ、ハイビスカス、令和2年（2020年）に熊本県のオクラ、令和3年（2021年）に高知県のナス、令和4年（2022年）に徳島県のオクラ、令和5年（2023年）に宮崎県のオクラでの発生が確認されている。

9. 形態

成虫は体長2.7～3.2mm。頭胸部は黄緑色で、翅の末端近くに一对の黒点がある。終齢幼虫は体長2.4～3.2mm。全身がほぼ黄緑色で、翅芽（翅原基）に一对の黒点がある。

10. 生態

本種は年間で7世代発生するとされており、沖縄での発生は5～10月で、特に7～8月に多発する。雌成虫は、葉脈に黄白色の卵を一度に15卵ほど産卵する。卵はふ化直前に灰色がかかった黄色になる。卵は4～11日でふ化し、幼虫期間は7～21日、成虫の寿命は35～50日である。

11. 被害

幼虫、成虫ともに新葉や茎から吸汁する。葉の黄化、萎縮、奇形を呈し、成長が抑制される。

12. 防除対策及び参考事項

- (1) 現時点で、ナスにおいて本種に適用登録のある農薬はない。

- (2) 成虫の侵入を防ぐために、開口部に2mm目以下の防虫ネットを設置する。
- (3) 収穫残さは発生源となるため、収穫後は圃場外の土中に埋没するなど、早期に適切に処分する。



図1 黄化・萎縮した被害葉



図2 生長点の奇形



図3 フタテンミドリヒメヨコバイの成虫

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。アドレスは、
<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/239/> です。

